

農業学園だより

令和7年8月

Vol.2

県北農林事務所

経営・普及部門

(常陸太田地域農業改良普及センター)



常陸太田普及センターでは、8月6日(水)に、水戸市の株式会社 AOKI FARM にて、農業学園第3回講座を開催しました。常陸太田管内の農業学園受講生等7名が参加しました。

第3回講座は、「水稻講座～法人経営について学ぶ～」と題し、株式会社 AOKIFARM 代表取締役の青木良彰氏を講師として現地で法人経営に関するお話を伺いました。

青木氏からは、法人化までの過程や、法人化後に苦労したことなどの説明と所有する農機の紹介、説明がありました。

受講生からは多くの質問があり、充実した講座となりました。



受講生からは、「自身の体験を分かりやすく話していただいた」「法人化も含めて経営の参考になった」「従業員がいかに楽できるかを考えていることが凄いと思った」などの感想が聞かれました。講師と受講生を交えて、栽培や経営に関して幅広く意見交換ができたことで、今後の参考となった様子でした。



【講座の詳細、今後の講座の予定は裏面をご覧ください！】

農業学園に関するご質問や、その他普段の営農で感じた
疑問や相談など、お気軽にご連絡ください
常陸太田地域農業改良普及センター（担当：吉久保、大森）

TEL：0294-80-3340

FAX：0294-80-3348

「水稻講座～法人経営について学ぶ～」のまとめ

◆株式会社 AOKIFARM について

- ①設立 2020年7月
- ②経営理念 感謝の心で土地を守り、地域を守る。
- ③経営規模 田 50ha 畑 55ha
- ④品目・面積 米 : 50ha 麦 : 22ha
大豆 : 30ha 白小豆 : 3ha
なたね : 6ha 長芋 : 20a
- ⑤出荷先 JA、仲卸業者、製油会社、納豆メーカー
豆腐屋、茨城パン用小麦研究会
- ⑥労働力 5人(本人、妻、従業員3名)



代表取締役
青木良彰氏

◆講話・作業場見学

- ・高校卒業後に農機メーカーへ進もうとしていたが、祖父の他界と親類の後押しで、田畑を引き継いだことが就農のきっかけ。
- ・従業員のために法人化を選択し、安定した給与の支給や社会保障制度の導入など、働きやすい環境を整備した。
- ・作業の効率化と労力の軽減を目指し、自作の噴霧器を考案。軽トラックの荷台に搭載できる仕様とし、二人一組で薬剤を散布できるように設計した。



自作の噴霧器を説明する青木氏



【今後の農業学園の予定】

普及センターでは、農業を始めて間もない方等を対象に農業学園を開催しており、受講者も随時募集しています。ご興味がある方は、お気軽にお問い合わせください。

回	時期	内容
第4回	11～12月	販売関係の講座、交流会
第5回	1月	県北地域プロジェクト発表会
第6回	2月	SNS 講座、閉講式

※日時等の詳細は決まり次第追ってご連絡します。